

今月の表紙

有限会社 永松瓦工業 (玖珠町)
永松 啓太郎 氏



商工会加入のきっかけ

父親が商工会に加入しており、地域のお祭りに参加したところ、青年部員さんから、「商工会青年部に入らないか？」と声をかけていただきました。

地域の人とのつながりができ、経営者同士で話すことがとても有意義で、多くの情報交換が行えております。

また、青年部の部長を経験したこともあり、研修会の企画をして、多くの知識が身につきました。



事業内容について

当社は大分県玖珠町で、初代の永松近夫（祖父）が、瓦の製造・施工会社として昭和29年に創業し、創業当初は、すべて手作業で瓦製造を行ってきました。

平成4年に法人成りし、2代目永松陽一（父）が事業を引き継ぎ、現在は私が父から事業を引き継ぐ準備をしています。事業自体は今年で、創業70年目になります。

近年、家の新規施工が減少しており、また瓦の屋根の家が減っている影響もあり、災害の復旧工事等も行いながら、地道に営業活動（玖珠町・九重町）を行っております。

永松瓦工業の取り扱い商品

セラミックサンド

規格外の瓦を粉砕した砂利です。

照り返しが少なく、多孔質で保水性があり打水効果もありますので、さまざまな用途に使用することができます。

販売できない瓦を、再利用しており、環境に優しく、瓦の自然な色合いが様々な景観にマッチします。庭の敷石や、園芸用土壌の被膜にご利用いただいております。



商工会から支援を受けながら

令和2年に持続化補助金^{※1}、令和3年に経営革新計画承認^{※2}、と積極的に国や県の施策を活用しております。

持続化補助金では、近年の災害に備え、ドローンを活用した瓦屋根診断などの保守点検を開始し、さらにダイレクトメールを発送して、販路開拓を行いました。

多くの反響がありましたので、また販路開拓について何かできないかと考えております。

さらに、事業承継に向けては、「専門家派遣制度」を利用し、中小企業診断士の先生に来ていただき、経営計画や財務状況の評価、改善等を行っております。

いつも困ったことがあれば、商工会へ相談させていただいており、玖珠町商工会の方はいい方ばかりで、人に恵まれていると感謝しております。

持続化補助金にて作成したチラシ

※1 持続化補助金とは

小規模事業者が直面する制度変更（働き方改革や被用者保険の適用拡大、賃金引上げ、インボイス導入等）等に対応するため、経営計画を作成し、それらに基づいて行う販路開拓の取組み等の経費の一部を補助するものです。

※2 経営革新計画とは

「新たな事業活動」を行うことにより、「経営を相当程度向上させること」と法律で定められています。経営革新を図るための3～8年間の経営計画（ビジネスプラン）のことを「経営革新計画」と言います。法律に基づき、中小企業・小規模事業者（以下「特定事業者」）が作成した経営革新計画を大分県が承認するものです。大分県制度資金の低利融資や販路開拓の補助金などの各種支援策によって、承認された経営革新計画の実行を支援するものです。

ご相談は、最寄りの商工会まで

今後の展望

昨今、原油価格高騰など続いておりますが、当社は「安い」を売りにしているわけではなく、長年培ってきた技術と地域に根差した経営を行っている地盤の強さがあります。

瓦は1枚から取り換えることができ、耐用年数も長く、日本の気候風土に合った屋根材です。価格で勝負するのではなく、本当の瓦の良さを伝えながら、地域の安全・安心な暮らしのため、様々な取組を行ってまいります。

また、玖珠町は瓦屋根の建物も多く、高齢化も進んでいます。お一人で住まわれているご年配の方も多いので、積極的に保守点検・定期的な訪問をして地域を守っていき、「地元企業」の良さを伝えてまいります。

担当商工会

玖珠町商工会

玖珠町は大分県の西部に位置し、九州では第一の河川である筑後川の上流、玖珠川が東西に貫流し、清水瀑園をはじめ滝や湧水地が随所に見られる自然豊かなまちです。

今回は当地域で「瓦施工業」を営む有限会社永松瓦工業 永松啓太郎さんからお話を伺いました。



玖珠町商工会